

こもれび・komorebi・木もれ日

# 木もれ日

総合建設  
株式会社 日向建設 ひゅうが せつ  
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4  
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか  
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303



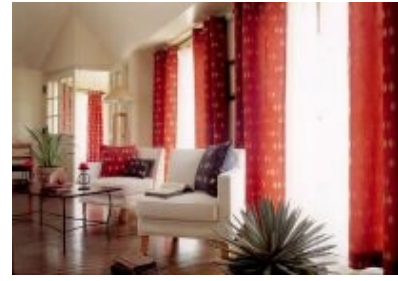
…皆さんに質問です…  
『どのような家が、“理想の住まい”だと思いますか？  
お洒落なデザイン？ 部屋の広さ？ それとも…』

デザインが素敵な家。部屋がいくつもある広～い家。憧れますね。しかし、いくら外観がお洒落でも、設備が整っていても、住み心地が悪かったとしたら、「家」としての役割を果たしているとは言えないでしょう。『住まい』は、生活の源です。安心して暮らせる場所・家族とのふれあいが出来る場所、そして癒しの場所となる空間です。日向建設では、快適な住み心地の家こそ、『本物の家』だと考えています。その基本の上で、自分の好みのデザインを楽しめる家ならば理想的ですね。

家を建てる時は、どのような暖房器具を使うか考えると思います。今、注目されているのが、高気密で高断熱、しかも省エネの、『24時間全室暖房の家』です。

家族の健康を考えた『快適な住まいづくり』

- 結露をなくし、24時間快適な家
- ① 暖房 … 蓄熱式床暖房
  - ② 窓ガラス… ペアガラスまたはLOW-Eガラスを使用
  - ③ サッシ … 樹脂または木製のものにする
  - ④ 断熱材 … セルローズファイバーを使用
  - ⑤ 内装材 … 自然素材(木・土・紙)にする



▲大きな窓があるお部屋。カーテンは、インテリアとしても重要ですが、断熱材としての役目もしています。

24時間全室暖房

蓄熱式床暖房は、居間・台所・子供部屋といった部屋ごとに暖めるのではなく、家全体が『暑いとも寒いとも感じない適温の部屋』になります。夜トイレに行く時も、朝一番に起きた時もちょうどいい温度の部屋を想像してみてください…とても気持ち良さそうだと思いますか！

窓ひとつで家の快適さが変わる

蓄熱式床暖房を考える上で、窓は重要な部分といえます。一般的に家を建てる時は、なるべく大きな窓をつくり、太陽光を沢山取り入れたいと考えますね。大きな窓があるということは明るい部屋になりますが、冬は熱の大半が逃げてしまいます。それを防ぐためには、ガラスとサッシの両方の断熱効果を高めてあげましょう。

窓の断熱効果を高めると、冬は室内の熱を逃がさず、放射冷却も減ります。逆に夏は、外からの熱をさえぎり、家の中に熱を伝えないため部屋の中が涼しいままです。ですから一年を通して快適になり、冷暖房費も少なくて済みます。

窓ガラスにもいろいろあります

日本では窓ガラスが一重のまま壁に断熱材を使用している家を見かけますが、熱の大半は窓から逃げてしまいます。ペアガラスにするとガラスとガラスの間の空気層が断熱材となり、室内の暖気が外へ逃げるのを防ぎます。

日向建設がとくに注目している『LOW-Eガラス』は、光だけを通して、紫外線のほとんどを反射させるという優れた性質を持っています。このガラスならば、冬は太陽から光を取り入れ、夏は外部からの直射熱を反射するので、快適に過ごせます。

また『スペーシア』と呼ばれるガラスがあります。スペーシアは、1/10mmというごくわずかな隙間(真空状態)で2枚のガラスがくっついている窓ガラスです。断熱効果が高いので、結露が生じにくくなります。「今使用している一重ガラスの窓を枠はそのまま残して、ペアガラスに変えたいんです…」というお客様に人気のガラスです。普通のペアガラスが、窓枠の厚さの問題で設置できないお宅でも使えるからです。予算の問題もあるので「居間だけ、子供部屋だけ」など、お部屋によって上手に使い分けているお客様もいらっしゃいます。



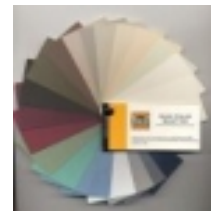
▲女性の大敵・紫外線も、ペアガラスなら約50%、LOW-Eガラスは、約65%～80%の紫外線をカットします。

サッシ(窓枠)もいろいろ

窓枠は、アルミ、木、樹脂、ファイバーグラスや、その複合の種類があります。一般に多く普及しているアルミサッシの場合、かなり多くの熱がアルミを伝わって外に逃げてしまいます。アルミは熱伝導率が高く、乾燥木材の約1700倍も熱が伝わります。



▲外国製の輸入のサッシは、木製でオシャレなデザインがたくさんあります



▲サッシの色見本。皆さんの色から好きな色を選ぶのは楽しい！

樹脂サッシは窓枠の熱伝導率が低いので結露を防ぐのに適していますし、輸入木製サッシは気密性も断熱性も高いので、結露を防ぐには理想的なサッシです。木製サッシは、後々の手入れが簡単なように、窓枠の外側をアルミや樹脂で被覆したものが多くあります。また、見た目を良くするために、室内側に木材の化粧張りをした樹脂やファイバーグラスなどもあります。このようなサッシを所要所に、予算に合わせて使うのが効果的でしょう。

アルミサッシで一重ガラスの場合でも、リフォームは可能です。築20年前後の家のガラスであれば、窓ガラスだけを2重にすることも出来ます。余裕があれば、サッシとガラスの両方を取り替えるのが効果的です。今年の冬こそは…とお考えの方、ぜひ一度、ご相談下さい。



もうすぐ完成です！ 青葉区 H邸

木もれ日 NO.20で『地盤調査』の特集をしました、H邸です。施主様の希望により、快適な家づくりを目指し施工してきました。  
地盤下…地盤改良工事 基礎…ベタ基礎 断熱材…セルローズ  
床…蓄熱式床暖房 窓ガラス…防犯合わせガラス 壁…外壁通気工法  
屋根…日本瓦 自然素材…木酢液・柿渋など使用  
セルローズは、断熱効果はもちろん結露ができません。そして、防音にも優れている事が実感できました。部屋に入ると不思議な静けさに気が付きます。家族が癒される『終の棲み家』となりますように。

屋上緑化 壁面緑化

屋上緑化・壁面緑化は、住宅にとって、多くのメリットがあることをご存知ですか？



「エコパレット」は、植物園が開発した緑化商品(特許品)。日向建設でも購入してみました(約3,000円)。真夏でも10日に1回程度の水遣りでOKだそうです！

屋上緑化は、地球規模で環境を考えたとき、都市にとって最も有効な“自然と共生する住宅”として、近年多くの建築家たちが真剣に取り組んでいます。例えば都市で「屋上・壁面緑化」が進むと、真夏の気温が4～5℃下がり、夏冬ともにエアコン・暖房費が約3割下がります。原子力発電所25基分の省エネも可能となり、都市が緑の野に生まれ変わります。建物の寿命も4倍に延び、各家庭の食卓に自家製の野菜が並ぶ…夢ではありません。

最近、「エコパレット」という商品を見つけました。鉢(パレット)や培養土・木炭などがセットされていて、根腐れなどをふせぐ特殊構造になっており、簡単に栽培ができます。旅行に出かけるときも安心です。ベランダに置いてみませんか？ コンクリートに囲まれた現代社会。生活の中に緑を積極的に取り入れましょう。

第五期 鎌倉マイホーム学院

10/2より開講の第五期鎌倉マイホーム学院の修了式が11/20に行なわれました。和やかな雰囲気の中、全7回の講義が無事終了しました。また新しい仲間が増えた事、とても嬉しく思っています。我家が家族全員の癒しの場所となるといいですね。

～じんぶん大図鑑～

伊藤 通之 さ ☆日創不動産 担当  
☆宅地建物取引主任

いつもニコニコ、笑顔がすてきな伊藤さん。不動産の事はもちろん、人生の事もいろいろ教えてもらえそうです。何事もいいかげんに出来ない性格。机のまわりを見てもらえば、よく分かりますよ。趣味は、読書に書道。旅行が好きという行動派でもあります。

■編集後記

早いもので、今年も残すところ一ヶ月余りとなりました。第五期のマイホーム学院も終了しました。今回は人数が少なく、淋しさも感じましたが、『かえって、本音で話すことが出来て良かった』とおっしゃる方もいました。横濱青葉区 H邸。いよいよ完成です。温熱環境の自信作ですので、体感したい方は、お申し出下さい。蓄熱式の床暖房のすばらしさ・快適さを実感できると思います。